

⑪ 風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業

【現状と課題】

- 福島県以外の都道府県においては、野菜・果樹の産出額を震災前の水準から伸ばしている（R5/H22比：110%）一方、**福島県の野菜・果樹の産出額は震災前の水準まで回復していない（R5/H22比：94%）**。
- 震災後は**市場占有率の低い園芸品目**ほど、風評の影響を大きく受けており、販売先での供給量が潤沢であると産地の**選択順位が下がり**、競合する他県産地よりも**単価が低下した状態で固定化**されている状況にある。

【事業の目的】

- 市場等から選ばれる園芸品目の生産推進を図るため、作付実証や土壌分析等の**風評払拭に向けた取組**、地域性のある品種や栽培方法等に特色のある**創意工夫を凝らした取組**、安定的に高品質な農産物を定量供給するための園芸施設や機械導入等の**生産体制強化に向けた取組等**を支援し、**地域性を活かした、多様で競争力の高い産地を育成**する。

【事業目標】

- 福島県産野菜・果樹の産出額の向上

【事業概要】

- 園芸産地自らが地域の特性を生かし、園芸産地の生産力を一層強化し、競争力の高い産地を育成するため、次の取組に要する経費を支援する。

1 競争力強化県推進事業 <定額>

園芸産地の生産力強化や競争力の高い産地を育成するため、研修会の開催や調査分析等に要する活動を支援

2 生産対策強化支援事業 <定額、1/2以内>

- ・ 市場等から選ばれる園芸品目の生産推進を図るため、作付実証や加工品試作及び地域性のある品種や栽培方法等に特色のある創意工夫を凝らした取組に要する経費を支援
- ・ 安定的に高品質な農産物を定量供給するための園芸施設や機械導入等の生産体制強化に向けた取組等を支援

事業実施主体：

- （1の取組）福島県
- （2の取組）市町村、農業協同組合、農業者の組織する団体等

【事業イメージ】

- **福島県園芸振興プロジェクト**に位置づける野菜・果樹の品目（きゅうり、トマト、アスパラガス、ピーマン、ブロッコリー、ねぎ、たまねぎ、いちご、もも、なし、ぶどう、りんご）について、**県内4地区で施設化等の推進を図る**。



研修会の開催



なしジョイント棚の導入



パイプハウスの導入



環境測定制御装置の設置